

## 2020年度 自然観察会 実施報告

四日市自然保護推進委員会

回数	第 10 回	参加者数	61名	
テーマ	早春の田んぼや林縁			
実施日	2021年2月14日	天候	晴れ	
場所	川島乱飛ビオトープ周辺			
コース	開会時刻（10：00） 炭焼き小屋→自噴井戸→シデコブシ自生地→ため池→栗林→炭焼き小屋 解散時刻（11：50）			
指導内容・反省 コロナ対策で参加者を2班に分けて実施しました。 ・四日市周辺の地形のでき方（水沢扇状地、地層） ・東海湖の形成と東海丘陵要素（シデコブシ） ・春の七草 ・ニホンアカガエルの卵の観察、生態について ・クスサン、ウスタビガの繭 ・カワセミの古巣の説明 ・カルガモ、ヒヨドリの羽が散乱している様子を観察（タカ類に襲われたと思われる。） ※ビオトープ周りに切り株がたくさんあり、つまづかないように声掛けをしました。 ※田畑に電気柵があり注意を促しました。				
参加者の声など（抜粋） ・アカガエルについて色々知ることが出来ました。卵も触れてよかった。 ・10年近く川島に住んでいますが、知らないところばかりで楽しかったです。 ・子どもがたくさん自然のものに触れることが出来ました。 ・川島の自然観察会は何度か来ていますが毎回知らなかったことがあり新鮮でした。 ・声が聞こえにくいところがあるため、先生の近くに行くのがポイントだが、どこに先生がいるか分からないことがある。				
観察記録（観察・採集・目撃・鳴き声 などの種類）				
植物	イチョウウキゴケ、シデコブシ、ウラジロ、カキノキ、ホトケノザ、セリ、ハコベ、 ハハコグサ、スイバ、ソメイヨシノ、ガマ、カラスノエンドウ、ヤブタバコ			

昆虫	イラガ、クスサン (繭、卵)、キタキチョウ、ツチイナゴ、ナナホシテントウ、ハイイログンゴロウ、キタテハ、ウスタビガ (繭)、チャミノガ、オオカマキリ (卵鞘)、タマムシ、クリオオアブラムシ、コシブトハナバチ sp.
野鳥	ハシボソガラス、ヒヨドリ、カワラヒワ、メジロ、キジ (声)、ムクドリ、ウグイス (声)、カワセミ (巣)、ハシブトガラス、モズ、エナガ、ホオジロ、スズメ、ツグミ、シロハラ、トビ、ビンズイ、カルガモ (羽)、ヒヨドリ (羽)、キジバト (羽)
動物	アマガエル、ニホンアカガエル (成体、卵)、イセノナミマイマイ (殻)
地学	東海湖、水沢扇状地、火山灰 (みがき砂)、泥岩、チャート

ニホンアカガエルの卵の観察



散乱したヒヨドリの羽の観察



クスサンの繭の観察



シデコブシと東海湖の関係の話

